

# 御殿場市「ゼロカーボンシティ」宣言

地球温暖化・気候変動問題は、この星に暮らす私たち一人一人にとって避けることのできない喫緊の課題です。国内各所に甚大な被害を及ぼした巨大台風の事例は記憶に新しいところですが、今も排出され続けている温室効果ガスの増加によって、今後、こうした水害等の更なる頻発化・激甚化が予測され、もはや「気候危機」と表現すべき事態とも言われています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されましたが、昨年公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するためには「2050年までにCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

御殿場市は国際社会の一員として、また、世界遺産富士山の麓にふさわしいエコガーデンシティを目指しSDGsに取り組む都市として、市民や事業者の皆さんと共に、脱炭素社会の実現に貢献するため、2050年までに市内のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言します。

2020年 2月 3日

御殿場市長 若林 洋平